

1. 船橋市の製造業の動向

（1）事業所数・従業者数・製造品出荷額等の動向

令和3年の事業所数は260事業所（平成28年比▲15.9%）、従業者数は15,157人（同▲7.6%）と減少したが、製造品出荷額等は6,963億円（同+10.1%）と増加した。（図表1）。

製造品出荷額等は、食料品（増加数：+320億円、増加率：+13.6%）、生産用機械（同：+233億円、+2.2倍）、金属製品（同：+131億円、+40.6%）などで増加した。

図表 1 事業所数・従業者数・製造品出荷額等の推移

(単位:事業所、%)

	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	平成28年比	
							増減数	増減率
事業所数	309	277	266	258	266	260	▲ 49	▲ 15.9
従業者数	16,406	15,594	15,119	15,073	14,291	15,157	▲ 1,249	▲ 7.6
製造品出荷額等	6,326	6,829	6,578	6,824	6,779	6,963	637	10.1

（出所）令和3年及び平成28年は総務省「経済センサス(活動調査)」(従業員4人以上の事業所)、その他は経済産業省「工業統計調査」。

（2）市内産業との比較

本市の製造業の売上金額は4,882億円（業種別構成比22.7%）となっており、卸売・小売業（7,487億円、同34.8%）に次ぐ水準となっている（図表2）。

本市の製造業の業種別構成比は、千葉県の同構成比（13.4%）を9.3ポイント上回っている。

図表 2 産業大分類別の売上（収入）金額（構成比）

(単位:億円、%)

		農林漁業	鉱業、採石業、砂利採取業	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信業	運輸業、郵便業	卸売業、小売業	金融業、保険業
船橋市	(金額)	79	－	3,691	4,882	36	200	844	7,487	66
	(構成比)	0.4	－	17.2	22.7	0.2	0.9	3.9	34.8	0.3
千葉県	(金額)	1,690	378	30,595	39,996	2,673	5,563	14,501	111,684	6,084
	(構成比)	0.6	0.1	10.3	13.4	0.9	1.9	4.9	37.4	2.0

		不動産業、物品賃貸業	学術研究、専門・技術サービス業	宿泊業、飲食サービス業	生活関連サービス業、娯楽業	教育、学習支援業	医療、福祉	複合サービス事業	サービス業（他に分類されないもの）
船橋市	(金額)	1,027	265	280	514	225	1,277	4	628
	(構成比)	4.8	1.2	1.3	2.4	1.0	5.9	0.0	2.9
千葉県	(金額)	12,402	6,379	4,702	9,267	4,816	36,924	1,700	8,894
	(構成比)	4.2	2.1	1.6	3.1	1.6	12.4	0.6	3.0

（3）千葉県内市町村との比較

本市の製造業の県内における位置づけをみると、事業所数（県内5位）、従業者数（同3位）、製造品出荷額等（同4位）など上位の水準にある（図表3）。

製造品出荷額等の内訳では、加工賃収入が千葉市に次いで2位となっている。

図表 3 千葉県内市町村との比較

	千葉県	県内順位				
		1位	2位	3位	4位	5位
事業所数【事業所】	4,748	千葉市 447	野田市 298	松戸市 285	市原市 279	船橋市 260
従業者数【人】	206,017	市原市 21,938	千葉市 21,683	船橋市 15,157	野田市 10,245	八千代市 10,200
製造品出荷額等【億円】	119,264	市原市 39,692	千葉市 12,145	袖ヶ浦市 9,010	船橋市 6,963	君津市 5,851
うち加工賃収入【億円】	3,302	千葉市 481	船橋市 330	市原市 298	君津市 166	野田市 143

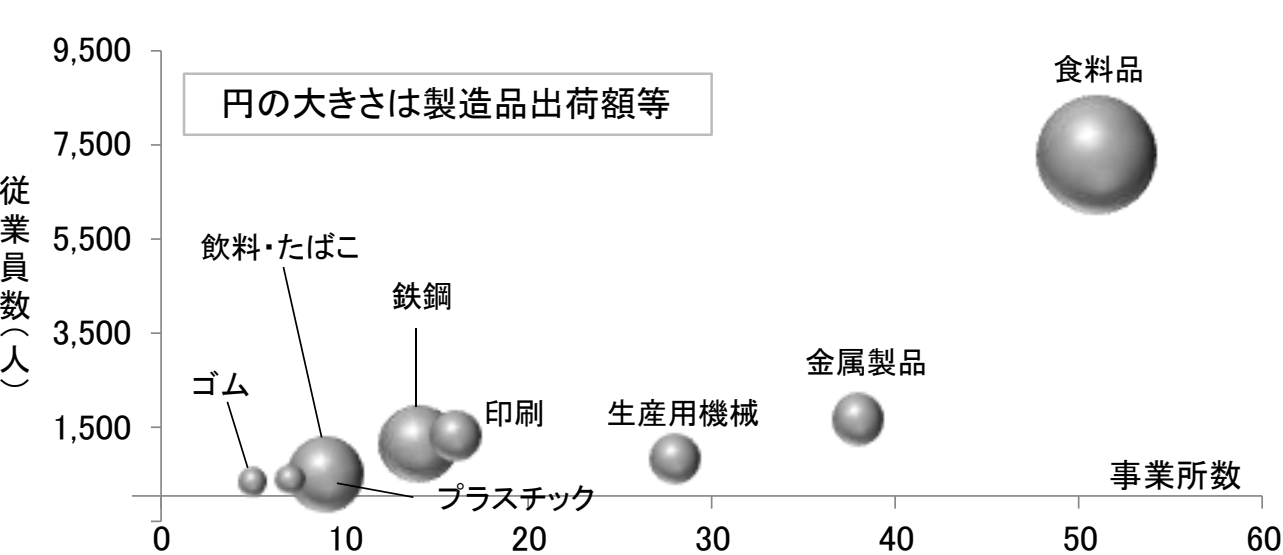
（出所）総務省「令和3年経済センサス(活動調査)」(従業者4人以上の事業所)

（4）産業分類別の構造指標（製造品出荷額の上位8業種）

本市の製造業の産業中分類別の構成比をみると、事業所数では「食料品（構成比19.6%）」、「金属製品（同14.6%）」、「生産用機械（同10.8%）」などが高くなっている（図表4）。

従業者数では、「食料品」の構成比が47.9%と突出して高い。

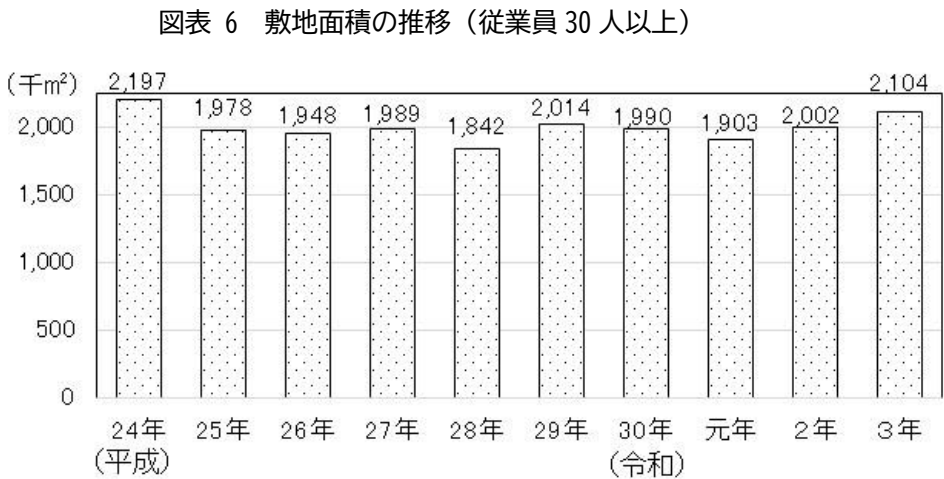
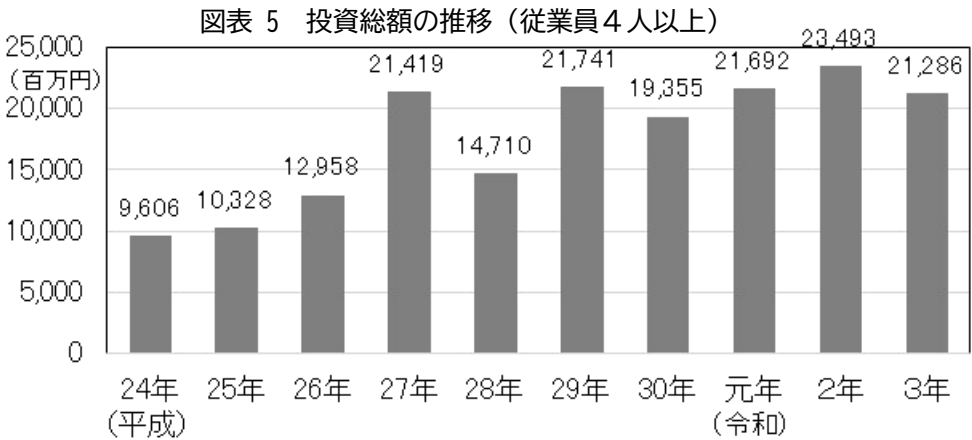
図表 4 産業分類別の構造指標（製造品出荷額等の上位8業種）



（出所）総務省「令和3年経済センサス(活動調査)」(従業者4人以上の事業所)

(5) 投資動向等

投資総額をみると、平成24年の96億円から令和3年には213億円（平成24年比+2.2倍）に水準を切り上げた（図表5）。一方、敷地面積は、2百万㎡を挟む水準で横ばい推移している（図表6）。



(6) 工業系用途地域における都市化の進行状況

工業系用途地域を含む35町丁の人口動態をみると、平成26年の57,765人から令和6年には62,458人（平成26年比+4,693人）に増加した。この間の増加人数は、市全体の増加数（28,205人）の16.6%を占めており、山手地域（北本町、行田、山手を指す）を中心に住工混在地域が拡大している（図表7）。

図表 7 工業用途地域の人口増減

地域	平成26年人口	令和6年人口	増減率	増減数
山手	19,221	22,981	19.6	3,760
海神・南海神	10,254	10,722	4.6	468
北船橋(藤原)	6,753	7,112	5.3	359
習志野台	4,966	4,615	▲ 7.1	▲ 351
前原西	4,910	5,113	4.1	203
宮本	1,276	1,956	53.3	680
ハイテクパーク	2,154	1,901	▲ 11.7	▲ 253
臨海工業地区	4,809	4,852	0.9	43
小計(35町丁)	57,765	62,458	8.1	4,693
【参考】船橋市合計	620,389	648,594	4.5	28,205

(出所) 千葉県「千葉県年齢別・町丁字別人口」

2. 同規模市との比較

同規模市	船橋市の人口±20万人程度の政令指定都市及び中核市（船橋市を含み27市〔政令指定都市：7市、中核市：20市〕）
------	---

本市の製造業の指標を同規模市と比較すると、事業所数、従業者数、製造品出荷額等とともに同規模市平均を下回っている（図表8）。平成28年から令和3年にかけての増減率をみると、事業所数の減少率（平成28年比▲15.9%）は同規模市（同▲18.5%）をやや下回るものの、従業者数の減少率（同▲7.6%）は同規模市（同▲1.5%）を大きく上回っている。一方、製造品出荷額等および粗付加価値額の増加率は、同規模市平均がいずれも減少するなか、船橋市は二桁の大幅増加となっている。

【製造業の産業規模は小さいが、大幅に拡大している】

図表 8 同規模市の比較

指標名	年次	単位	船橋市の水準値	同規模市の平均値
事業所数	令和3年	事業所	260	750
事業所増減率	3/28年	%	▲ 15.9	▲ 18.5
従業者数	令和3年	人	15,157	31,009
従業者数増減率	3/28年	%	▲ 7.6	▲ 1.5
製造品出荷額等	令和3年	億円	6,963	16,686
製造品出荷額等増減率	3/28年	%	10.1	▲ 3.1

（出所）総務省「令和3年経済センサス（活動調査）」、以下同じ。

1事業所当たりでみると、従業者数、製造品出荷額等、粗付加価値額は、いずれも同規模市平均を上回っている（図表9）。【大規模な製造業の事業所が多い】

一方、従業者1人当たりでは、製造品出荷額等は、同規模市平均を下回っているものの、粗付加価値額は同規模市平均を上回っている。【生産効率はやや劣後するものの、新たに生み出した付加価値は大きい】

図表 9 同規模市との成果指標（令和3年）の比較

指標名	単位	船橋市の水準値	同規模市の平均値
1事業所当たり従業者数	人/事業所	58.3	41.3
1事業所当たり製造品出荷額等	万円/事業所	267,795	222,369
1事業所当たり粗付加価値額	万円/事業所	109,942	65,100
従業者1人当たり製造品出荷額等	万円/人	4,594	5,381
従業者1人当たり粗付加価値額	万円/人	1,886	1,575